



第50回
北九州市民体育祭
春季レディース・弓道
大会

5月12日
市立夜宮弓道場
参加者 58人
矢渡
射手 大原壽矢子
介添 吉田恵子
長友かほる

段位別に4部門に分かれて、一手坐射と立射一手4立ちの合計10射で順位を競った。優勝以外の同中者は遠近法で順位が決められた。
無段～弐段の部 ①原田佑三子(遠賀) ②鍋山千帆(的場池) ③久保園由美(行橋)
参段～四段の部 ①湯浅千恵(小倉南) ②森里子(的場池) ③塘理奈(勝山) ④松本裕子(桃園)
五段の部 ①多門一美(芦屋) ②吉田恵子(遠賀)
称号者の部 ①川畑美枝子(的場池) ②阿久井房江(夜宮)
総合優勝 川畑美枝子(的場池)

また、紙皿を的にした余興も行われた。ずらりと並べられた紙皿の裏に書かれた賞品名には、母の日にふさわしい野菜や果物などのセットが用意され、見えない賞品に向かって一喜一憂しながら大いに盛り上がった。

第20回小倉南弓道場
創設記念弓道大会

5月19日
市立小倉南弓道場
参加者 207名
矢渡
射手 那須孝美
介添 中西浩幸
細山田孝英

北九州市を中心に福岡雨が降りしきる悪天候の県内、大分県からも弓道愛好家が集まって記念大会が開催された。各自四矢2回の計8本による的中数で団体戦、個人戦を行なった。又、20周年記念の特別賞としての的中数20本の団体に贈られる「20中賞」も設けられた。

団体

男子の部

- ①チーム福岡A(大藪巧・川崎悠貴・森下啓太郎)
- ②夜宮A(簗原伸二・林晃市郎・岸本昇)
- ③的場E(首藤憲造・香月保・那須不二男)

女子の部

- ①芦屋B(多門一美・青木昭子・秋武洋子)
- ②チーム福岡B(大島マキエ・佐藤泉・伊佐エツ子)
- ③小倉南J(吉村明美・那須悦子・内木場裕見子)

個人称号の部

- ①大庭忠臣(求道勝山会) ②森下啓太郎(チーム福岡)
 - ③杉原義勝(求道勝山会) ④内木場裕見子(小倉南) ⑤上野勝美(若松)
- 有段男子の部 ①大藪巧(チーム福岡) ②川崎悠貴(同)
- ③大丸俊幸(行橋弓道会) ④平原学(求道勝山会) ⑤簗原伸二(夜宮)

有段女子の部

- ①佐藤泉(チーム福岡) ②多門一美(芦屋) ③大西八壽子(小倉南)
- ④吉田千代美(日王弓友会) ⑤重松実穂子(小倉南)

無段の部

- ①木村和夫(小倉南) ②重松大助(同)

☆20中賞チーム福岡A





北九州地区女子研修会

6月9日
夜宮弓道場
参加者 40名
矢渡
射手 仰木洋子
介添 益田由理
原田佑三子
講師 仰木洋子
大原壽矢子
安田和恵
補助講師 池田沙綺子
秋武洋子
原田瑞枝

朝から雨の一日、北九州の女子を対象とした研修会が開かれた。礼記射義・射法訓唱和の先導者は内木場裕見子錬士六段。介添の講評後、講師の先生4人による一つの演武が行われた。その後、参加者を2射場に割り振って、それぞれに間合いを変えた射礼研修を行った。講師の先生の指導で戸惑う参加者もいる中、全員が割り振られた研修科目をこなした。

午後からは、全員がジャージに着替えた体配練習。ジャージ姿になることで、足さばきや回り方など細かなところが見え、先生方の鋭い指摘が与えられた。

次に、全員が弓と矢を持って同時に射場に入り、執弓の姿勢、射位での基本動作・姿勢の講習後、その姿で射技研修が行われた。最後に2射場に別かれて、着物による仕上げ射が行なわれた。

要は、臨機応変に対応しつつも、教本の記述の通りに行なうことが重要で、具体的に体験できて大変有意義な一日となった。

仰木講師から「今日の午前中よりも午後に進歩がみられたが、所作の間違いや未熟な部分もある。復習を重ねて今日より明日、明日より未来に向けて頑張ってもらいたい。次回の研修会ではより良くなって来てください」と話され、各自が胸に刻んで研修会を締めくくった。



北九州地区伝達講習会（称号者）

6月16日
夜宮弓道場
参加者 44名
矢渡
射手 那須孝美
介添 井原和子
小林久美
主任講師 那須孝美
講師 藤田由美
補助講師 増田俊博
戎 政實
大原壽矢子

先日、鹿児島市で行われた九州地区指導者講習会に参加された先生方を講師として、称号者を対象とした伝達講習会が開かれた。指導者講習会の成果を各地区に伝達するのが目的。礼記射義・射法訓唱和の先導者は吉村明美受講生。班長は安田和恵受講生。介添の講評の後、全員による一手行射を行い、全体講評が行われた。

昼食を挟んで持的射礼、講師による一つの演武、受講者による一つの射礼が行なわれた。続いて受講生の班別射技指導が行なわれ、先生方や受講生が射手の前・後・横から多面的に見て、色々な指摘をしていただいた。基本に立ち返るには、教本を忠実に守ることが大切ということを実感させられた。最後に一手行射による検定試験が行われ、全員が合格の域に達した、との言葉をいただき締め括った。





第60回西日本
都市対抗弓道大会

6月23日
夜宮弓道場
参加者 278名
矢渡
射手 戎 政實
介添 大原壽矢子
安田和恵

時雨模様の中、西日本各地より幅広く参集した弓道愛好家によって盛大に開催された。この大会は5人一組の団体戦、個人戦、夫婦や親子など家族で編成する家族大会の3部門で構成されている。団体戦は各自四つ矢一回の合計20射的中数11中以上を予選通過とし、通過したチームによる八寸的の一手競射で順位を決定、家族大会は家族2人の的中数で上位8組を選出し、トーナメント方式で順位を競った。

団体の部

- ①チーム福岡（福岡市：大藪巧・川崎悠貴・本田雄・藤野小百合・戎政實）
- ②九州共立大A（北九州市：金子晃大・上間拓誠・相川博貴・吉留祐樹・安部田京介）
- ③的場GB（北九州市：白石睦雄・村田章・緒方明美・木下剛夫・鎌田厚行）

個人の部

有段男子の部

- ①圓井大祐（北九州市）4中
- ②林晃市郎（同）4中
- ③中山貴弘（同）4中

有段女子の部

- ①立野知己（周南市）4中
- ②岩本順子（北九州市）3中
- ③中尾美文（同）3中

無段の部

- ①上間拓誠（北九州市）4中
- ②横道洲星（同）3中
- ③荒巻健太郎（同）2中

家族の部

- ①上田和恵・砂川浩子親子（下松市）
- ②坂倉和人・舞夫妻（長門市）
- ③林晃市郎・理一郎親子（北九州市）
- ③待鳥順也・友希江夫妻（同）

